

豊後大野警察署協議会

第2回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年9月17日（火）

第2 出席者

協議会 委員 3名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備課長、総務係長 7名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・業務重点推進状況及び諮問事項について説明がなされた。

2 意見、質疑応答等

(1) 中九州横断道路の中央分離帯等について

委員から「中九州横断道路の朝地IC－大野IC間の中央分離帯にコンクリートの防護柵が設置されているが、大野IC－犬飼IC間はポールしかなく、対面通行が危ないと感じている。また、犬飼IC近くの速度の電光掲示板に『かすら』が巻き付いていて視認性が悪く除去して貰いたい」との意見がなされ、警察署から「将来、4車線化を予定している区間はポールを設置しているようである。対面通行の事故防止の観点から、今後、国交省をはじめ関係機関・団体等と検討したい。また、視認性の悪い標識については当署も把握済みであり、現在対応中である」旨の説明がなされた。

(2) 防犯カメラについて

委員から「全国の郵便局に360度カメラが配分設置された。今後、協力できることがあれば積極的に協力したいと考えている」旨の意見がなされた。

(3) 山岳遭難について

委員から「登山での道迷いや遭難を防ぐための『YAMAP』という登山アプリがある。遭難防止のため、警察からも積極的な広報啓発活動をお願いしたい」旨の意見がなされ、警察署から「『YAMAP』とは県と県警で協定を結んでいる。引き続き、登山届や危険箇所の情報共有を行い、山岳遭難防止に努めていく」旨の説明がなされた。

(4) 災害対策について

委員から「先日、防災士の会議に出席し、その席上で避難場所に寝具や食事がなく、避難者自ら用意する必要がある等の問題が提起された。災害時の避難は、まだ多くの課題があるが、引き続き、警察からの早期避難の呼び掛けをお願いしたい」旨の意見がなされ、警察署から「ご指摘のとおり、避難場所や避難方法については課題があると考えている。警察では、引き続き、市と連携しながら早期避難を呼び掛けたい」旨の説明がなされた。

(5) バック駐車について

委員から「子供を送迎する保護者に対し、バック駐車を呼び掛けている。警察が作成した『バック駐車』のミニ横断幕を参考に、私方も横断幕等を制作して送迎する保護者に広報したいと思う」旨の意見がなされ、警察署から「引き続き、バック駐車の情報をお願いしたい。保護者への交通安全教室など、必要があれば対応したい」旨の説明がなされた。

(6) チャイルドシートの取締りについて

委員から「子供を送迎する保護者で、チャイルドシートを利用していない方を多く見かける。チャイルドシートの利用促進に向けた対策をしていただけないか」旨の意見がなされ、警察署から「チャイルドシートを利用していなかったことによる痛ましい事故が全国的に発生している。今後も引き続き、チャイルドシートの違反取締りを行う等、取り組んでいく」旨の説明がなされた。

(7) 祭典時の警備について

委員から「花火大会等の祭りやイベントについて、警察が協力する基準は何かあるのか」旨の質問がなされ、警察署から「イベントの警備は、主催者による自主警備が基本となる。ただし、来場者の人数やイベントの内容等を考慮して、民間の警備では補えない場合や危険箇所での警備等については警察も協力して行っている」旨の説明がなされた。

(8) 特殊詐欺について

委員から「先日、460万円の特殊詐欺被害のニュースを見た。一昔前はコンビニで購入した電子マネーを騙し取られるという被害を見聞きしていたが、最近の手口で、何か変わったことはあるか」旨の質問がなされ、警察署から「コンビニや銀行での水際対策の効果が少なからず現れていると思う。最近の手口ではSNS型の投資ロマンス詐欺が増えている」旨の説明がなされた。

(9) 行方不明者の手配について

委員から「最近、行方不明になった2名がまだ見つからない。ケーブルテレビ等でお知らせするのは家族の承諾が必要か。また、今回のように見つからない行方不明者は管内でも多いのか」旨の質問がなされ、警察署から「ケーブルテレビ等で情報発信する場合は、家族の承諾が必要である。管内でまだ見つからない行方不明者は他にも数人いる」旨の説明がなされた。

(10) イベントの開催について

委員から「今度、パトカーの展示や鑑識作業等を体験するイベントがあると聞いた。このようなイベントを行うことで、警察官と住民との距離も縮まり、非常に良い企画だと思う。今後も積極的に行っていただきたい」旨の意見がなされた。